

佐野美術館プレスリリース May 2020

ひれ ざき えい ほう

天才絵師 鮎崎英朋の美人画

—朝日コレクション 明治・大正の木版口絵より

展覧会名： 天才絵師・鰐崎英朋の美人画 —朝日コレクション 明治・大正の木版口絵より
会 期： 2020年9月5日[土]～10月25日[日]
会 場： 佐野美術館
開館時間： 午前10時～午後5時(入館の受付は午後4時30分まで)
休 館 日： 木曜日
入 館 料： 一般・大学生1,100円 小・中・高校生550円
* 9月21日(月・祝)敬老の日は65歳以上無料 * 毎週土曜日は小中学生無料
主 催： 佐野美術館、三島市、三島市教育委員会、静岡新聞社・静岡放送
後 援： 静岡県教育委員会
協 賛： 伊豆箱根鉄道株式会社
特別協力： 太田記念美術館、弥生美術館

展覧会の趣旨

佐野美術館は、2020年9月5日[土]～10月25日[日]まで、艶美なヒロインを描き近代の日本文学を鮮やかに彩った画家・鰐崎英朋(1880-1968)の展覧会を開催します。

今年生誕140年を迎える鰐崎英朋は、小説や文芸雑誌の巻頭を飾り、物語の主人公や一場面を紹介する「口絵」のジャンルで活躍しました。泉鏡花や柳川春葉など人気小説家の口絵を手掛け、明治・大正期の人々の絶大な支持を得ました。

本展は、約3,500点もの口絵を収集する朝日コレクションから100点余の多色摺木版口絵を厳選し、鰐崎英朋の美人画を紹介します。

展覧会のみどころ

明治・大正期の小説や文芸雑誌に、美麗な木版口絵は欠かせないものでした。本の売れ行きを大きく左右した口絵に各出版社は力を注ぎ、一流の画家に制作を依頼しました。

木版口絵の全盛期にひときわ輝きを放った画家が鰐崎英朋です。愁いを帯びた目元、小さな赤い唇、ほつれた髪 — 鰐崎英朋の描く新時代のヒロインたちは、読者を熱狂させました。

本展は、美人画を中心とした木版口絵約100点と貴重な下絵や資料により、鰐崎英朋の画業を展覧します。また、人気の双璧をなした鏑木清方をはじめ、武内桂舟、水野年方、富岡永洗、梶田半古などの口絵の代表作約50点もあわせてご覧いただきます。

登場人物の心の機微をとらえた画家の描線や色彩は、江戸の浮世絵版画の技を受け継いだ彫師・摺師により木版多色摺でみごとに再現されました。画家の卓越した感性と、職人の超絶技巧の競演にもぜひご注目ください。

展覧会の主なイベント

◆講演会「明治・大正期の木版口絵に魅了されて」 10月17日(土)14:00～15:30

PRESS RELEASE

SANO ART
MUSEUM

佐野美術館プレスリリース May 2020

広報用画像

本展の紹介記事等を掲載される場合には、1~6の画像をデータで提供できます。
電話、FAXまたはメールでご連絡ください。

※画像掲載をする場合、作品クレジットの明記をお願いします。



1.



2.



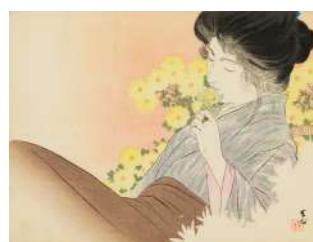
3.



4.



5.



6.

1. 鮎崎英朋 柳川春葉著『誓』前編 口絵 至誠堂書店 大正4年(1915)6月
2. 鮎崎英朋 泉鏡花著『続風流線』口絵 春陽堂 明治38年(1905)8月
3. 鮎崎英朋 泉鏡花著『婦系図』前編 口絵 春陽堂 明治41年(1908)2月
4. 鮎崎英朋 「横櫛おとみ」(『娯楽世界』大正3年10月号 口絵) 鈴木書店 大正3年(1914)10月
5. 鮎崎英朋 柳川春葉著『誓』中編 口絵 至誠堂書店 大正6年(1917)4月
6. 梶田半古 「菊のかわり」(『文芸俱楽部』第11巻第13号 口絵) 博文館 明治38年(1905)10月

掲載作品はすべて朝日コレクション 画像提供:立命館大学アート・リサーチセンター

お問い合わせ

佐野美術館 広報グループ 深沢・西脇

〒411-0838 静岡県三島市中田町1-43 Tel. 055-975-7278 Fax. 055-973-1790

URL <https://www.sanobi.or.jp> E-mail koho@sanobi.or.jp

※4/16(木)~6/11(木)の間、佐野美術館は臨時休館いたします。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、内容を変更する場合があります。